



平成31年度『平成の、その先の時代に向かって』

施政方針



平成31年3月定例町議会において、吉田義徳町長が平成31年度の町政運営についての施政方針演説を行いました。その一部を抜粋して紹介します。

本年度は、4月の統一地方選にはじまり、4月30日には天皇陛下がご退位され、皇太子殿下が翌5月1日にご即位されます。10月には消費税率の引き上げが予定されており、大きな節目が続く大切な一年となります。平成の、その先の時代に向かって、確固たる道筋をつけるため、生活の基盤となる道路などの社会資本整備に加え、妊娠・出産・育児の切れ目のない子育て支援や、急速に進む高齢化社会に対応した施策をさらに強化していく必要があります。

政府は、東京一極集中を是正し、地方への新しいひとの流れをつくるため、自らの工夫とアイデアで地方創生に挑戦する自治体を応援しています。本町では、この地方創生交付金を活用して、崎野自然公園のコテージ建設をはじめ、東部コミュニティセンターの調理室改修やフィットネスルームを新設するとともに、本町の魅力を伝えるテレビ放送を行うなど、交流人口の拡大に向けた地域活性化を推進しております。今後は、鳴鼓岳の景観を生かしたプロジェクトにもチャレンジする予定で、引き続き、まちの魅力を高めるプロジェクトを積極的に進めてまいります。

少子化の克服には、若い世代が抱える子育ての不安を解消し、子どもたちが持つ可能性を存分に発揮できるよう、教育環境の整備や充実を図ることが大切です。子育て世代の方たちが、安心して子どもを産み、働きながら育てることができるよう、すべての小学校の敷地内に学童保育所を整備し、さらに4月には新しい保育園が開設される予定です。また、子育て世代の経済的負担を軽減するため、10月からスタートする幼児教育の無償化が円滑に実施できるよう準備を進めてまいります。そして、子どもたちの学力向上を図るため、新たな学力調査の導入をはじめ、語学力の向上やグローバル化に対応した国際的感覚を養うため、中学生を英語圏に派遣する事業を実施するとともに、町立小中学校にエアコンを設

置するなど、子育ても教育もしやすい環境づくりに努め、たくさん子どもたちの声で賑わう明るいまちづくりを進めてまいります。

増え続ける高齢者の皆さまにも活躍してもらわなければなりません。経験豊かで意欲も能力もある高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいを持って暮らしていけるよう、生活支援サポーター活動事業の活性化をはじめ、地域全体で支え合う高齢者見守りネットワーク事業を推進するとともに、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた準備を進めてまいります。

ハード面の整備では、2029年度の完成を目指す時津中央第2土地区画整理事業の整備促進をはじめ、国道206号の慢性的な交通渋滞解消の切り札として期待される西彼杵道路(時津工区)の早期供用開始に向け、積極的に働きかけてまいります。また、子々川日並線や西時津左底線(野田工区)などの生活関連道路の整備を促進するとともに、浦・浜田地区を新たにゾーン30に指定するなど、未来を担う子どもたちの交通安全対策にも全力で取り組んでまいります。

以上のような重点施策を実施するとともに、第5次総合計画に掲げる本町の将来像「生活都市とぎつ 誰もが住みたくなる町へ」を目指して、3つのテーマである「快適で活力のあるまち」「健やかで美しいまち」「人が育つ協働のまち」の実現を図ってまいります。

今後も健全な町財政を堅持しつつ、選択と集中の観点を持って、町民の皆さまの生活を支える各種施策を計画的に推進してまいりたいと存じますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

※施政方針の全文は、町ホームページに掲載しています。

【行政情報→町長室→町長室[施政方針]→平成31年度 施政方針】

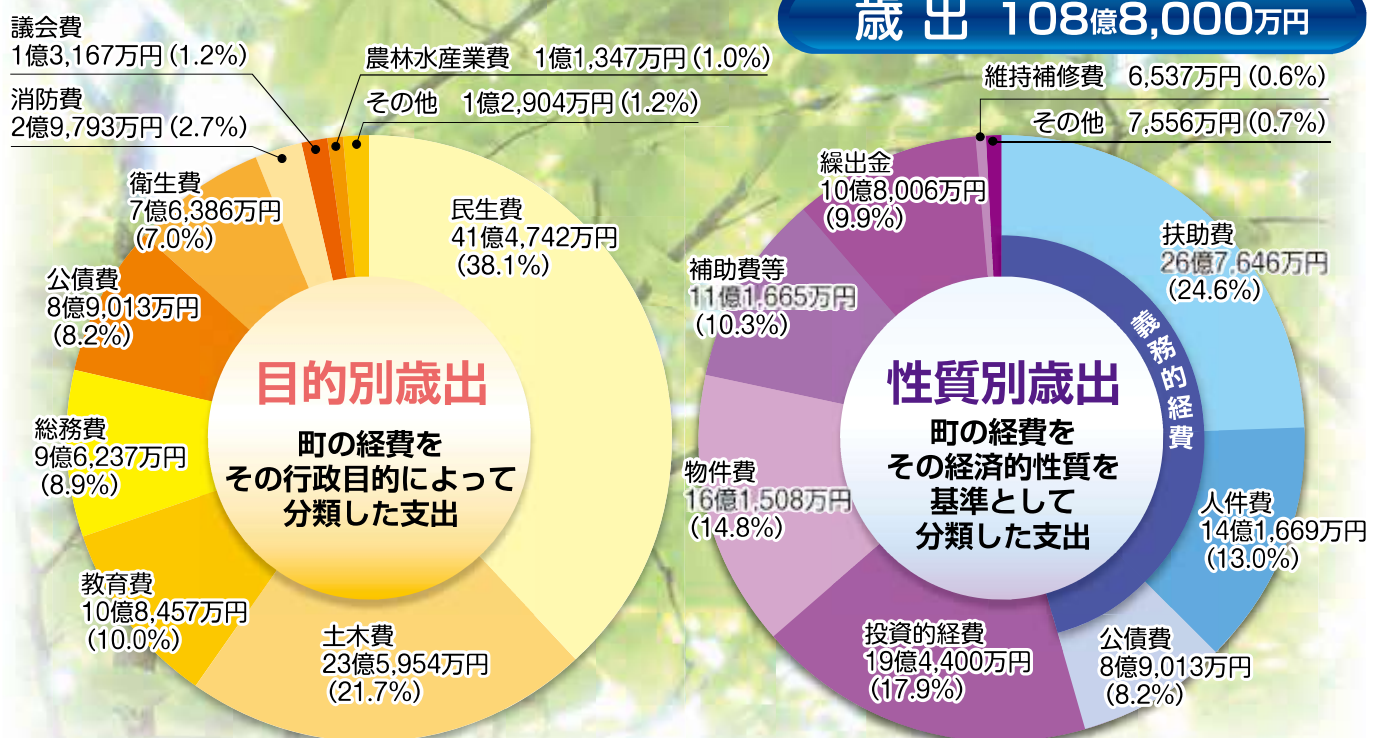
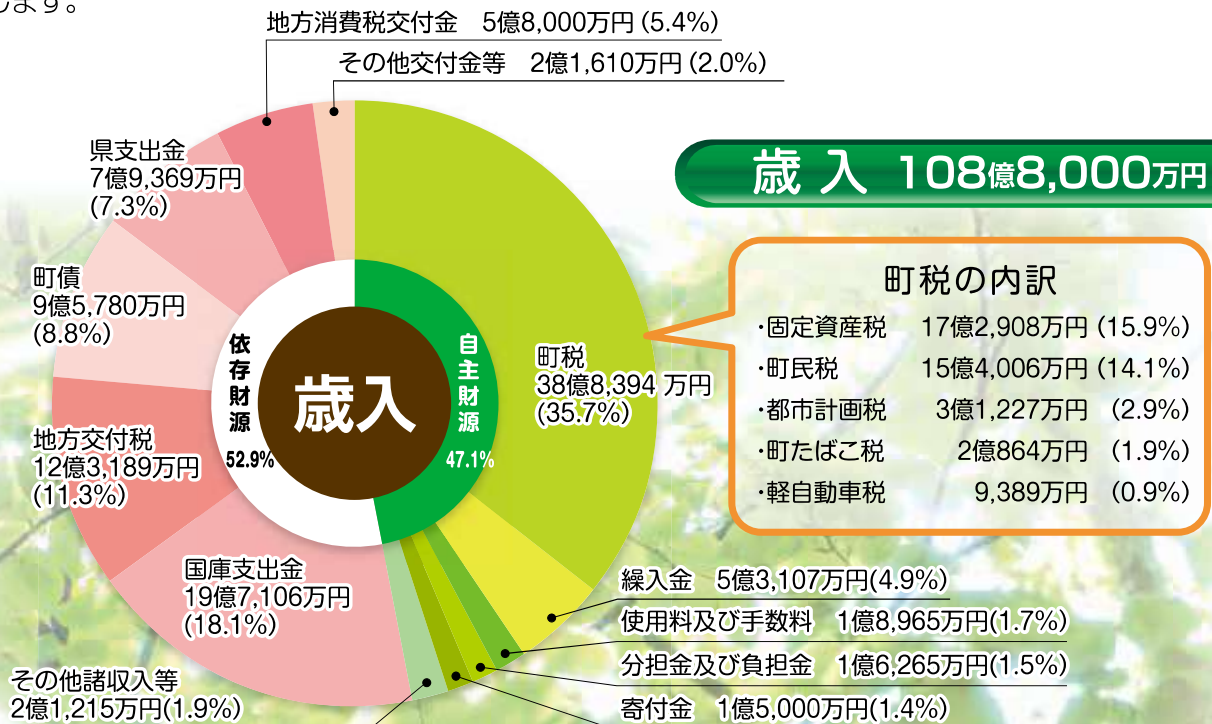
平成の、その先の時代に向かって

本年度
当初予算

一般会計 **108億8,000万円**

(前年度比 1.7%、1億9,000万円の減)

施政方針に基づき編成した一般会計、特別会計（国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・浄化槽整備事業）、公営企業会計（水道事業・下水道事業）の本年度当初予算が、定例町議会で議決されましたのでお知らせします。



前年度との比較

平成30年度当初予算と比較したときの主な減少要因は以下のとおりです。

歳入

・ふるさと時津応援寄付金（ふるさと納税）…………… 1億5,000万円（3億5,000万円の減）

歳出

・ふるさと納税事業費…………… 7,500万円（2億7,500万円の減）

特色ある事業

総務費（行政サービスの向上など）

- 地方創生推進交付金事業…………… 1,689万円
- 中学生英語圏派遣事業…………… 689万円
- 通学路交通安全対策事業…………… 500万円
- ゾーン30整備事業…………… 486万円

民生費（社会福祉サービスの充実など）

- プレミアム付商品券事業費…………… 4,700万円

衛生費（保健衛生や環境衛生など）

- ロタウイルス予防接種委託料…………… 189万円

農林水産費（農林水産業の振興など）

- 鳴鼓岳駐車場周辺環境整備事業…………… 2,000万円

商工費（商工業の振興など）

- ふるさと納税事業費…………… 7,500万円

土木費（区画整理、道路のインフラ整備など）

- 第2土地区画整理事業…………… 13億6,905万円
- 西時津左底線（野田工区）道路事業…………… 2億105万円
- 子々川日並線道路改良事業…………… 1億1,655万円
- 町道点在舗装・長寿命化修繕事業…………… 5,717万円
- 日並左底線道路事業…………… 5,000万円

消防費（消防施設整備や消防団活動など）

- 消防団新基準活動服購入…………… 474万円

教育費（学校教育や生涯学習の振興など）

- 町教育施設長寿命化計画策定業務委託料…………… 1,888万円
- 時津北小学校既存屋内運動場解体工事…………… 1,715万円
- 英語指導助手配置事業…………… 1,253万円

町民1人あたりに 使われているお金は？

364,746円 です。その内訳を見ると…

議会費 町議会運営費として 4,414円 平成30年度 4,341円 (増減+73円) 	土木費 区画整理、道路等のインフラ整備に 79,102円 平成30年度 79,710円 (増減-608円) 
総務費 一般行政事務費として 32,263円 平成30年度 32,329円 (増減-66円) 	消防費 消防活動や消防団育成に 9,988円 平成30年度 9,507円 (増減+481円) 
民生費 社会福祉サービスの充実に 139,040円 平成30年度 137,246円 (増減+1,794円) 	教育費 学校教育や生涯学習の振興に 36,360円 平成30年度 35,979円 (増減+381円) 
衛生費 保健サービスや快適な環境づくりに 25,608円 平成30年度 24,563円 (増減+1,045円) 	公債費 町の借入金の返済に 29,841円 平成30年度 29,745円 (増減+96円) 
農林水産業費 農林水産業の振興に 3,804円 平成30年度 3,894円 (増減-90円) 	その他 商工業の振興や災害復旧に 4,326円 平成30年度 13,640円 (増減-9,314円) 

平成31年3月末の人口：29,829人 平成30年3月末の人口：29,842人

介護保険特別会計 本年度予算

介護保険事業

●歳入 20億6,783万円（前年度比1.0%減）

支払基金交付金 5億1,224万円 (24.8%)	国庫支出金 4億2,790万円 (20.7%)	介護保険料 4億4,287万円 (21.4%)	繰入金 4億1,283万円 (20.0%)	県支出金 2億7,159万円 (13.1%)
---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	------------------------------

○諸収入	25万円 (0.1%未満)
○使用料及び手数料	15万円 (0.1%未満)

●歳出 20億6,783万円

保険給付費 18億2,600万円 (88.3%)

地域支援事業費	1億2,546万円 (6.1%)
総務費	1億1,507万円 (5.6%)

○予備費	100万円 (0.1%未満)
○諸支出金	30万円 (0.1%未満)

介護サービス事業

●歳入 1,761万円（前年度比2.4%増）

サービス収入 1,519万円 (86.2%)	繰入金 240万円 (13.6%)
------------------------------	-------------------------

諸収入	2万円 (0.2%)
-----	------------

●歳出 1,761万円

事業費 1,565万円 (88.9%)

諸支出金	171万円 (9.7%)
予備費	25万円 (1.4%)

後期高齢者医療特別会計 本年度予算

●歳入 3億3,344万円（前年度比7.1%増）

後期高齢者医療保険料 2億4,721万円 (74.1%)	繰入金 6,838万円 (20.5%)
---------------------------------	---------------------------

諸収入	958万円 (2.9%)
○分担金及び負担金	822万円 (2.5%)
○使用料及び手数料	5万円 (0.1%未満)

●歳出 3億3,344万円

後期高齢者医療広域連合納付金 3億547万円 (91.6%)

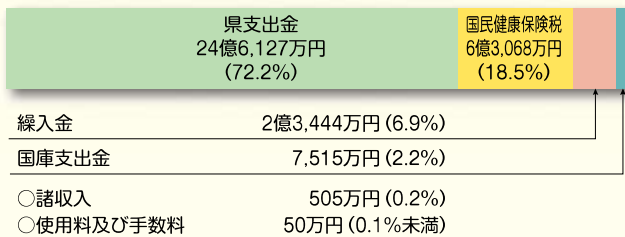
総務費	2,604万円 (7.8%)
○予備費	100万円 (0.3%)
○諸支出金	93万円 (0.3%)

用語の説明

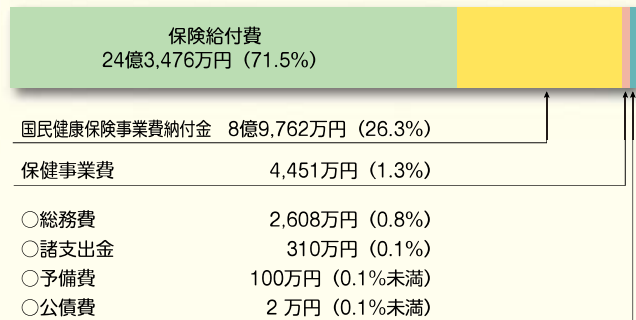
- ①歳入：町における1年間のすべての収入。
- ②歳出：町における1年間のすべての支出。
- ③一般会計：町が行う行政運営の基本的な経費を計上したもの。
- ④特別会計：特定の事業を行う場合に、その特定の事業に対する歳入を歳出にあて、一般会計とは区別されるもの。
- ⑤公営企業会計：事業経営による収入で経費を賄う独立採算制をとる会計。（水道事業会計など）
- ⑥自主財源：町が自主的に収入できる財源。（主に町税など）
- ⑦依存財源：国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入の財源。（主に地方交付税、国庫支出金など）
- ⑧町税：固定資産税、町民税など。時津町の歳入の中で一番大きな収入。
- ⑨地方交付税：国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税を一定の割合で国が地方に交付するもの。
- ⑩町債：町が各種事業を実施するために国やその他の金融機関から借り入れる資金のことで、通常10年以上かかって返済される。
- ⑪国庫支出金（県支出金）：国（県）が特定の目的のために交付する補助金など。

国民健康保険特別会計 本年度予算

●歳入 34億709万円（前年度比0.1%増）

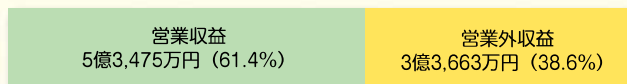


●歳出 34億709万円

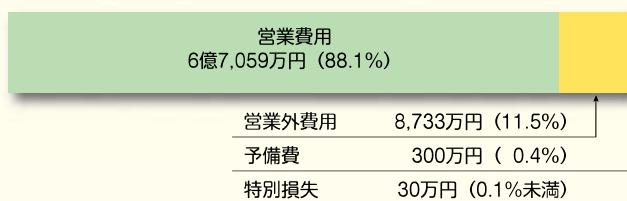


下水道事業会計（公営企業会計） 本年度予算

●収益の収入 8億7,138万円



●収益の支出 7億6,122万円



●資本的収入 1億2,158万円



●資本的支出 4億7,772万円

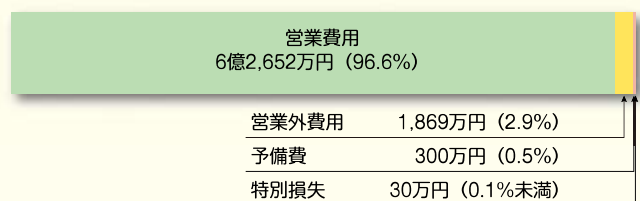


水道事業会計（公営企業会計） 本年度予算

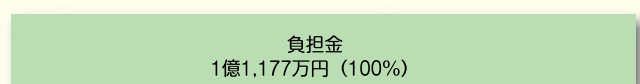
●収益の収入 7億6,300万円



●収益の支出 6億4,851万円



●資本的収入 1億1,177万円

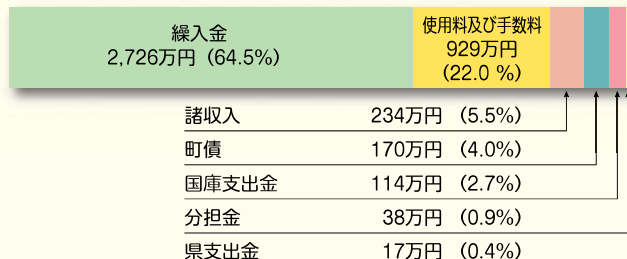


●資本的支出 2億5,125万円



浄化槽特別会計 本年度予算

●歳入 4,228万円（前年度比6.4%増）



●歳出 4,228万円

